

KiKiの広場

2015年 10月 1日

cafe NO.60
KiKi



今年の『スーパームーン』見られましたか？それだけでなく月には人々を惹きつけたり怖がらせたり、神秘的で時には妖しげな魅力がありますが、28日の『スーパームーン』はまさしくそんな感じでした。外に出て光をあびていると、何百年、何千年前の人も同じ月を見ていたんだなあ、ととても不思議な気がしました。変わっていくものもあれば、変わらないものも・・・変わったことに気づかない場合もあります。壮大な気分を味わった後は、小さなことでも1つ1つのことを丁寧に大切にしていかなければいけないなあ、改めて思いました。

10月の予定

13日(火)	休館日
毎日曜日	定休日

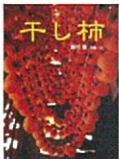


「今月のケーキ」・・・「フィン風カスタードスフレ」350円

カスタードクリームとメレンゲをあわせたバニラビーンズ入りの滑らかなスフレ生地に、ミルク風味クリームをたっぷりのおせ、チョコレートソースで仕上げました。ビターなキャラメルソースがきいた甘味を抑えたスイーツです。

今月のお気に入り・・・「秋を感じる絵本」

～「干し柿」「ナミチカのきのこがい」「落ち葉」「まゆとスカスカフー」「まほうのえのぐ」「ちゃっくりかきいふ」などなど～



自然写真家西村豊さんが、4年以上の年月をかけて干し柿づくりを追い続けた、美しく迫力のある写真絵本です。表紙を見るとまるで珊瑚の首飾りのようで、それだけで惹きこまれます。最近では軒下につるされた干し柿を目にするどころか、口にすることも多いのではないのでしょうか。干し柿を通して、昔ながらの美しい日本の風景と、そこに込められた思いを感じることができます。「ナミチカのきのこがい」、実際にスロヴァキアに住んでいる作者の降矢ななさんの言葉です。「この絵本は、『私のはじめてのキノコ狩り』でもあります。スロヴァキアの森の空気を日本へ送りこめたら嬉しいです。どうぞナミチカといっしょに森のキノコたちとのひとときを楽しんでください。」



今月の本棚・・・「どんぐりの絵本」

～「子リスのアール」「どんぐりと山猫」「どんぐりころころ」「どんぐりかいぎ」「どんぐり」「どんぐりほうやのほうけん」など～



「子リスのアール」は、「くまのコールテンくん」の作者ドン・フリーマンが亡くなった後、見つかった幻の絵本だそうです。モノトーンの中にスカーフの赤が印象的ですが、このスカーフが大きな鍵になります。

子リスが自立するお話ですが、お母さんの厳しさと優しさ、そしてアールの健気さがたまらなくかわいいお話と絵です。宮沢賢治の「どんぐりと山猫」は、田島征三さんのダイナミックな絵とストーリーの面白さが見事にマッチしています。「どんぐり裁判?」「山猫裁判長?」なんじゃそれって感じですが、3日間揉めに揉めたどんぐりたちの裁判を、あっという間に解決した主人公一郎が思いついた判決とは、はてさて?



ほっとフレイク

同窓会・・・5周年を記念して、受付とカフェの新旧スタッフみんなが集まりました。5年の間に少なからずスタッフも変わりましたが、オープン当初から関わってきた殆どのスタッフがこの日の為に来てくれました。遠方から新幹線や車で日帰りの人もいました。久しぶりに会ったにも関わらず、毎日顔を見合わせた頃のように、何の違和感もなく話ができる仲間たち。「ヒストリア宇宙」が、また戻ってきたい場所としてだけでなく、また会いたい人たちの集まりであったというのは、関わってきた人間として本当に幸せだなと思いました。



今はそれぞれの場所で頑張っている旧スタッフをどう迎えるか、現スタッフも一生懸命準備しました。Nさんは大きなテーブルクロスを何枚も縫い、KさんはDVDの映画を1本観るほどの時間をかけて栗をむき、美味しいデザートを作り、Mちゃんは当日素敵な歌声を披露しました。(ワオー!)



館長の「ヒストリア宇宙」をどのような集いの場にしたいかという想いを改めて感じながら、温かい手作りのおもてなしができたように思います。10周年に向けて、仲間たちの思いと共に新たな嬉しいスタートがきれました。